

放射性物質の農産物に対する影響に関する アドバイザーの委嘱について

平成23年3月25日
福島県農林水産部

福島第1原子力発電所の事故に伴い農地や農産物への放射性物質の影響が顕著化していることから、今後、適切な対策をとるために、下記3名の学識経験者をアドバイザーに委嘱しました。

記

1 委嘱アドバイザー

(1) 学習院大学理学部化学科

教授 村松康行(むらまつ やすゆき)氏

(2) 独立行政法人 放射線医学総合研究所

特別上席研究員 内田滋夫(うちだ しげお)氏

(3) 財団法人 環境科学技術研究所

環境動態研究部長 久松俊一(ひさまつ しゅんいち)氏

なお、詳細については、別紙「アドバイザー プロフィール」を参照ください。

2 アドバイスの内容

(1) 放射性物質の土壌汚染に関する調査方法について

(2) 調査結果の評価について

(3) その他必要な事項

(別紙)

<アドバイザー プロフィール>

1 学習院大学理学部化学科

教授 村松康行(むらまつ やすゆき)氏

【経歴等】理学部化学科教授。元国際原子力機関(IAEA)国際公務員。04年より現職。92年科学技術庁長官表彰。04年地球化学研究協会学術賞(三宅賞)受賞。

【専門内容】地球環境微量元素や放射性同位元素分析研究の第一人者であり、取り組んでいるテーマは、地球・環境における放射性および安定元素の分布と挙動に関する研究である。研究対象は、岩石、土壌、植物、微生物、人体等と様々である。

2 独立行政法人 放射線医学総合研究所

特別上席研究員 内田滋夫(うちだ しげお)氏

【専門内容】環境における放射性および安定元素の分析および動態解析を専門とし、研究テーマとしては生態圏放射性核種移行パラメータや土壌から作物への放射性核種の移行についてである。

3 財団法人 環境科学技術研究所

環境動態研究部長 久松俊一(ひさまつ しゅんいち)氏

【経歴等】核燃料安全専門審査会委員

【専門内容】放射性物質の環境における移行と環境影響に関する調査研究を実施しており、研究テーマとしては、再処理施設周辺地域の環境中における放射性物質の挙動や予測モデルの作成、微量元素を濃縮する植物の探査などについてである。